

石クリ通信

10月号

「世界探検の旅」美と驚異の遺産」展 事務長 石川 都

毎秋恒例の院長と仲間たちの奈良コンサートに、今回も手伝いがてら同行し、秋の奈良を満喫してきた。
今年楽しみにしていたのは、奈良国立博物館で開催中の特別展「世界探検の旅」だった。奈良国博百三十年と天理大学百周年の記念として、国内最大級コレクションを有する天理大学参考館所蔵の、古今東西さまざまな文明の文化歴史遺産の数々が公開されており、とても見応えがあった。

中でも私が一番印象的だったのは、紀元前二一〇〇年頃のメソポタミアで、誰にも破壊されぬよう硬い閃緑岩で製作されたというシュメール王の頭像だった。それは四千年以上前の物とは信じられないほど端正な目鼻立ちで、その凛々しさに圧倒された。シュメール文明はエジプト文明よりさらに遡るBC三五〇〇年頃からチグリス・ユーフラテス川沿いに栄えた都市国家で、楔形文字やハムラビ法典、ギルガメシュ叙事詩などが有名だが、その他にも太陰暦や治水灌漑の技術にも長け、医学的にも頭蓋骨や白内障の手術も行われていたという。また蛇足だが、ビールやワインも飲まれていたらしい。そうしたことを思うと、人間の生や暮らしや技術は何千年もそう変わらないとしみじみ思った。今は確かに科学技術は進歩したが、人間の生き方や暮らしなどを文明的視野から俯瞰的に見ると、現代は進歩発展したと言えるのだろうか。会場ではその他にも、金色鮮やかなエジプト女性の木棺や、ジャワやニューギニアの宗教儀礼の仮面など、世界各地の民族文化遺産の実物を間近で見ることができた。人々の死生観や宗教儀礼など文化人類学に関心のある私には、まさに文字通り「時空を超えた探検の旅」であった。



初麻辣担

看護師

澤田 彰子

娘に連れられて水戸にある麻辣担のお店に行ってきました。春雨、練り物、肉、海鮮、野菜など、好きな具材を選んで仕上げてもらい、花椒やピーナッツを足して自分好みにカスタマイズする、若者の間で人気の麺です。初めてで勝手が分からずあれもこれも好きな具材を選び過ぎて、特盛になってしまいました。が、また食べに行きたくなる、やみつきな一品でした。

リボベジ

看護師

太田 小百合

リボベジとは、水に浸けて野菜の再収穫を楽しむこと、「リボーン・ベジタブル（再生野菜）」の略です。
一 簡単。水だけあればOK
二 節約になる
三 おしゃれなインテリアになる
この物価高の今、ちようどいいかなと思ひ、挑戦してみました。調べてみると、キャベツやレタス、玉ネギ、にんにく、アボカドまで再生できるみたいです。一円もかからないリボベジは、とてもエコです。リーズナブル！ 収穫量は少ないですが、ちよつとした家計の足しになります。観葉植物としての癒し効果もあるそうです。ぜひ試してみてください。

キャンプに行きます

事務

吉田 政子

家族で25年ぶりにキャンプに行くことになりました。
息子達は、よくキャンプに行くので、今時のおしゃれで便利なキャンプ用品が揃っていますが、我が家の四半世紀前のキャンプ用品（テントやシュラフ、コンロ等は、使い物になるだろうか？）今はレンタルと言う便利なシステムも使えるのですが、せつかくなら思ひ出の詰まった用品でもう一度キャンプを楽しみたいと思ひ、物置の奥から一式を引っ張り出してみました。手入れをすれば何とか使えるので、昔行つたキャンプの、数々の失敗や大雨の中でのキャンプとか今回のキャンプではみんな何を食べようとか、何をして過ごそうとか、色々と考えが浮かんで来てなかなか手入れが進みません。当日、雨だけは降らないで欲しいです。

焼きたては最高！

事務

森 多加子

水戸駅南口近くにある焼き鳥屋さんに行つて来ました。炭火で焼かれた出来立ての焼き鳥はどれも絶品でしたが、特につくねはふんわりしてジューシーで、本当に美味しかったです。今回は私の運転で行つたので、残念ながらお酒は呑めませんでした。次回はお酒を呑みたいと思います。



大病院の赤字

院長

石川 悟

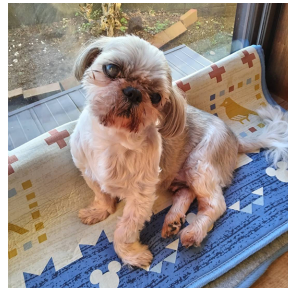
新型コロナウイルス終息後、現在、全国の大病院・公立病院など地域の基幹病院の七割が赤字経営になっていると新聞などで報道されています。赤字の原因は、主に物価の高騰と人件費の増大と考えられています。
病院の収入は保険診療による医療費です。ご存知の方も多いと思いますが、保険診療の金額は厚労省が細かく規定して、日本国中どんな医療機関でも支払う料金は変わりません。大病院であっても、赤字解消のために医療費を上げることはできません。各病院とも色々努力をしていますが、医療機器が老朽化しているのに新しいものに更新できないなど問題もたくさん出てきています。物価に見合った診療報酬の引き上げをすべきと主張しても、診療報酬改定は2年に一度で、高齢者の増加と高度医療による医療費の増大で、診療報酬の引き上げは政治的な判断が絡んできます。医療費を上げると患者の自己負担分も増え、さらには社会保険料が増加し、一般の人の給付手取りが減るので、国民の支持もなかなか得られません。
保険証（最近マイナカード）さえあれば、いつでもどこでも治療が受けられるという日本の医療体制を維持するため、国民一人一人が、また政治家が、そして国がしっかりとした施策を考えるべきでしょう。大病院が潰れてしまつてからでは遅すぎます。

大切な家族

看護助手

柴田 さち子

わが家の愛犬は、家に来て今年で十八年。いつも私達家族を癒してくれました。
四、五年前からは雷が大嫌いなになりました。雷が鳴り始めるとすぐに家中駆け回り、隠れる場所を探します。雷がやむまでいつも大変でした。雷が嫌いになった原因は、夏の花火大会。家族が見せたら音が大きくて、それから雷嫌いになったチャゲでした。チャゲは今年の六月に永眠しました。ありがとうチャゲちゃん！



日立市金沢町

庶務・ウェブ担当

石川 香

クリニックの西側にノーブルホームの分譲地が整備され、その『海と山と18の暮らし』というサイトがあります。とてもデザイン性が高く、魅力的なコピライティングで、まるで東京郊外のとてもオシャレな住宅街のようです。上空から撮った金沢町付近の住宅写真は、海や空をイメージさせるブルーが基調で、田畑や木の自然の緑がちょうどよく混じり合っています。QRコードからみられますので、写真の中で当院の場所を探してみてください。

